

UA神奈川学習センター なつだより

通巻第39号

2009年7月発行

発行:放送大学神奈川学習センター 〒232-0061横浜市南区大岡2-31-1



氷川丸(横浜港 山下公園)

目次:

グラントスラム達成インタビュー	2
学習センターニュース (渡辺所長公開講演会/模擬授業「コミュニケーション学入門」 /大学院OB古野さん一橋大経済研究会で研究発表)	4~5
学生生活に関するアンケート	6
あなたも「K-サポート活動」に参加しませんか?	8
K-サポート各チームからのお知らせ	9
神奈川サークル協議会の誕生	9
学生サークルからのお知らせ	10~11
学習センターからのお知らせ	12

グランドスラム達成インタビュー

お話: 吉田昭二さん 宮下光さん

放送大学から今年3月の卒業式で、教養学部全課程(6専攻)を卒業(グランドスラムの達成)したとして、同大学から学生表彰を受けた吉田さんと宮下さんのお二方にインタビューをさせていただきました。聞き手は編集部員の赤松と星です。

星: 本日はお忙しいところお越しいただきありがとうございます。よろしくお願いします。

吉田さん、宮下さんこの度はグランドスラム達成おめでとうございます。

放送大学から卒業式当日、グランドスラムを達成したとして表彰されましたが、今のお気持ちを聞かせて下さい。

吉田: 昔の友人から新聞を見た、とお祝いのメールや電話を頂きました。何となく暇に任せて20年間勉強した結果がこうなったと、お礼の言葉を添えて返事をしました。



宮下: 一期生として入学し長いこと放送大学にお世話になり、有難うございました、という気持ちの方が強いです。

赤松: 差し支えが無いようでしたら、お歳をおしえてください。

吉田: 新聞社のインタビューを受けた時は81.99歳でしたが、4月30日で82歳でうさぎ年です。

宮下: 吉田方式で言うと68.99歳です。3週間後に69歳になります。辰年です。

*編集部注: インタビューは6月2日神奈川学習センター学生相談室にて収録しました。

星: ご入学の動機についてお聞かせ下さい。

吉田: 入社したての頃、会社の徒弟教習所で新卒中学生の教育を担当していましたが、生徒を発展的に定時制高校に移管した際に、

数学教師の免状を取得して定時制高校の数学教師も担当しました。そのような経歴もあって退職直後は数学の教師をやったりしておりました。暇でしたので、通信教育か何かでもっと文学や歴史を勉強したいと思っていました。そんな折、たまたま妻が持ってきた新聞で放送大学のこと知り、平成元年、61歳の時に入学しました。

宮下: 現役バリバリの時、世の中は情報通信いわゆるIT全盛で「ニューメディア」時代でした。本来の「ニューメディア時代」実現には、背景に文系(社会学など)を併せ持つのが必要不可欠と考えていました。文部省へ行った時、たまたま放送大学開校のパンフレットを見かけ、それには、文系(社会学など)を含むカリキュラムが盛り込まれ、また、生涯学習の指針も強調されたものでした。渡りに船と思い、一期生として入学いたしました。

赤松: 学習でご苦労なされた学科がございましたら、後学のためにお聞かせください。

吉田: 文芸史と文芸理論です。ギリシャ時代の話もありましてね。6回挑戦しました。

赤松: 吉田さんでもそういうことがあったのですね。

宮下: 最初は成績もAとかⒶで早期卒業を目指していましたが、後半は在籍期間を延ばすのに相当苦労しました。学士入学で在籍可能年限も短くなりますから、時には一回目は落第していました。薬石効無く、終にグランドスラムとして「追放=離籍」されてしまいました。学生でないとクラブ活動もできないこともあり、大変淋しいことです。レミゼラブル(あー、無情)!!

星: これからのご計画についてお聞かせ下さい。

吉田: 大学院の選科生として、生物の多様性、環境生命科学について学びたいと思っています。例えば自然界における右利き、左利きなど、生物の働きは数学的でも物理的でも

あり興味を持っております。将来は大学院の全科生への移行も考えております。

*それからしばし健康談議に花が咲きました。

宮下: 吉田さんの着眼は素晴らしいと思います。私も民族、文化、生き方の多様性を、海外、国内の旅で探求し、歩きながら生活の張りや、生きがいを探っていきたいと思えます。事実、月1回程度旅に出ています。仕事より旅が優先です、暇ですから。



赤松、星: 同窓会、サークルに対して一言お願いします。

吉田: 良き仲間をつくる場所

宮下: 仲間を作る事が大切。一生、生涯学習は続きます。

赤松: 大先輩として学生に望むことはございますか？

吉田: リタイヤされた方も多いと思いますが資格をとることは良いことではないでしょうか。

宮下: これからは社会保険労務士なんかの取得も良いと思えますよ。

私は技術士や学芸員の資格を持っていますが、文化施設など訪問時、対応してくれる方もそれなりの対応をしていただけますので、話題が豊富になり、世界が広がっていきますよ。一番々瀬康子先生の「余暇生活」の中で、若い時にやった事のある「スポーツ、趣味、娯楽(余暇生活)」が、年取っても(定年後も)生きてきて、それから始めざるを得ません。その年代その年代に夫々やることあるんですよ。とおっしゃった言葉が一番印象に残っております。

星: 大学側に望む事はありますか

吉田: 神奈川学習センターは、ハンディを持った学生の便宜を図っております。勉強のサポートをしてあげる事も良いことだと思います。

宮下: 今現在、最高に長い年数(24年間)お世話いただいたので感謝するのみですね。

赤松、星: 本日はどうもありがとうございました。

最後に、お二方共に俳句がご趣味と伺い、ご自分のお気に入りの一句を挙げて頂きました。

吉田さん

春筍の盛り上がりたる坂の径 吉田眉山

(“春筍”は“しゅんじゅん”と読みます念のため)

宮下さん

船遊び蘇州に聞こゆ李香蘭 ひかる



編集部より

約一時間30分にわたりお話を伺いました。お二方ともお話がお上手で切れ目なく進化したため、すべてを記載することができず、編集部の一存で短縮して編集しました。

水飲み鳥の科学～渡辺所長公開講演会

神奈川学習センターで6月27日(土)公開講演会が開催されました。講師はこの春所長として着任された渡辺慎介先生です。

演題は「水飲み鳥の科学」で、なにやら親しみを感じさせるテーマでしたので、ぜひ拝聴したいと講師に程近いところに席をとりました。

先生の専門は「非線形物理」で、普段の生活ではめったに耳にしないテーマだと思いますが、今回はその



ような難しいテーマを脇において、今が旬の「太陽エネルギーや化石エネルギー」に関する地球上での問題点を解り易く解説したものでした。

少し頭が疲れてきたところで演題のテーマに移られ、模型のセットを用いて受講者にも解るように解説され、聴衆の目と耳を更に惹きつけました。



皆さん「水飲み鳥」ってご存知ですか。なにげなく見てきたものにもエネルギーという切り口で見直してみると、そこからメッセージが発せられているように見えるかも知れませんね。大変に考えさせられた講演会でした。(S)



模擬授業 大橋理枝准教授「コミュニケーション学入門」

本年度1回目の放送大学神奈川学習センターのオープンキャンパスが、7月5日(土) 大橋理枝先生の模擬授業を中心に開催されました。

授業は序論で「講義を聞いてノートを取った。」「今日の課長は不機嫌な様子。昨日のミーティングで部長に怒られたにちがいない。」など7つの例題がそれぞれコミュニケーションにあたるか問いかけがありました。本論では、コミュニケーションの線的類似モデル、円環的類似モデル、定義、分類、10のポイントについての説明がありました。コミュニケーション学でいうコミュニケーションと



は、「伝えようとして伝わったもの」をコミュニケーションというほか、「伝えようとして伝わらなかったもの」「伝えようとしないのに相手が受け取ってしまったもの」もコミュニケーションであり、序論の例題は、すべてコミュニケーションということがわかりました。

予定した1時間のテンポのよい授業で、参加者のみなさん教科への興味を持たれたのではないのでしょうか。模擬授業、8月9日にも、井口篤准教授の「不可能を体験する」があります。入学を考えている方向けの講義ですが、科目選択の参考として受講するのもよいのではないのでしょうか。



放送大学大学院OBの古野さん一橋大学の経済研究会で研究発表

7月11日(土)に一橋大学で行われた「経済研究会」(主宰:福田 泰雄 一橋大学教授)で、放送大学大学院修了生の古野高根さんが研究発表を行いました。

演題は、「20世紀末バブルはなぜ起こったか」。1980年代後半日本に起こったバブル経済をその崩壊過程まで含め、資本蓄積との関係、長期波動との関係、心理的要因、制度上の欠陥の4つに観点から考えるというもので、統計データや図表を駆使した発表でした。とくに、心理的要因のデータとして、「地価高騰」「財テク」などのキーワードの出現数を20年近くの期間について分析した



ことが参加者一同に賞賛され、1時間あまりの発表の後、参加された先生、学生から熱心な質疑応答が続く、充実した研究会になりました。



発表のもとになったのは、放送大学修士号取得後にすすまれた東京経済大学での博士論文と、博士論文をベースにした著書『20世紀末バブルはなぜ起こったか』(桜井書店、2008年刊)です。神奈川学習センターでは、10月から本書に沿った面接授業「日本のバブルはなぜ起こったか」が開講されます。講師はもちろん古野先生。ご興味をもたれた方は、受講されてはいかがでしょうか。



石学長の記念講演～学園祭 フェスタ・ヨコハマ8月30日(日)に開催

23回を数える神奈川学習センター夏の恒例行事フェスタ・ヨコハマ。今年は、石弘光放送大学学長(一橋大学名誉教授 元政府税制調査会会長)の記念講演「今後の日本経済・財政のゆくえ」ほかの内容で、8月30日(日)神奈川学習センター2階を全面利用して開催いたします。

スケジュールは、10:00記念講演会開演12:00フォスタープランビデオ上映 12:30交流会 15:30閉会です。行事に参加するには、参加券¥1,000-が必要で、単位認定試験期間中～8月12日まで、学習センターロビーで頒布します。詳細は、ポスター、ちらし、ウェブサイト <http://festa.yumesora.net> をご覧ください。

投稿募集 学習センターだよりでは、みなさまの投稿をお待ちしています。分野は特に問いませんが、放送大学の学生にとって興味のもてる話題が好ましいです。例として、①私の学生生活②私のおすすめ授業 ③放送大学卒業までの体験談 ④学習の失敗談 ⑤旅行の思い出、エッセイなど。字数制限はありませんが、特集を組む都合、長文の場合など、掲載時期、掲載方法についてご相談させていただきます。電子メール: ksupport@u-air.ac.jp (K-サポート事務局) ※電子メールが使えない方は、神奈川学習センター事務室までお届け下さい。また、編集チームに直接お渡しいただいても構いません。

編集後記 今年も暑い夏になりそうですね。編集部員の増強もあって、夏だよりでは新企画としてインタビューを行いました。今回はお二人への同時インタビューで、担当された女性編集員は日程調整に腐心をされたようです。開港博Y+150はもうご覧になりましたか。9.27までです。巨大蜘蛛直に見たいですね。
UA神奈川学習センターだより編集部
佐々木、笠井、星、赤松、家田、木下、笹崎
(以上、K-サポート機関紙編集チーム)
垣谷(K-サポート事務局) 福島(学習センター事務室)

学生生活に関するアンケート

1. 配布年月日：平成21年4月5日

2. 回答数…107人

3. 属性

a) 学生種別

全科履修生	66	61.68%
生活と福祉	7	10.61%
心理と教育	17	25.76%
社会と産業	13	19.70%
人間と文化	13	19.70%
自然と環境	4	6.06%
専攻未記入	12	18.18%
選科履修生	23	21.50%
科目履修生	13	12.15%
学生種別未記入	5	4.67%
合計	107	

b) 入学区分

新入学	87	81.31%
再入学	17	15.89%
未記入	3	2.80%
合計	107	

c) 性別・年齢別

	男性	女性	男女計
	56 52.34%	50 46.73%	107
10代	2 1.87%	1 0.93%	3 2.80%
20代	4 3.74%	4 3.74%	8 7.48%
30代	5 4.67%	9 8.41%	14 13.08%
40代	9 8.41%	12 11.21%	21 19.63%
50代	11 10.28%	12 11.21%	23 21.50%
60代	18 16.82%	7 6.54%	25 23.36%
70代	7 6.54%	4 3.74%	11 10.28%
年齢未記入	0 0.00%	1 0.93%	1 0.93%
性別年齢未記入	1 0.93%		

d) 入学動機

入学動機はさまざまであるが、「大学卒業資格取得」が全体の27%と高く、年代間の差はあまりない。次いで多いのが「生涯学習」への志向であり、40代以上の年代で圧倒的に多い。(19.7%)以下、「教養をつけたかった」(17.2%)、「スキルアップ」(14.6%)、「公的資格取得」(9.6%)の順となっている。

◇子どもと一緒に勉強してみようと思った。◇社会貢献のための基礎づくり、などの入学動機もあった。

4. 学習センターの利用について

学習センターの利用については、「単位認定試験のみ」と答えた人が3%と非常に少ない、入学者の集いに参加する新入生はセンターを積極的に活用しようという気持ちの表れか？項目別では、「再視聴を利用」が一番多く32%であり、「図書室を利用」が26%、次いで「面接授業に参加」が25%である。これらの項目別は全年代平均して利用している傾向にあり年代間のばらつきは少ない。「サークル活動に参加」という項目では5%と低い率となっている。

5. 学習生活で迷ったときの対処法

「学習センターの事務室に相談する」という回答が圧倒的に多く51%を占めている。事務室への信頼が高いことがうかがえる。次に「学習相談会等を利用する」(22%)であり、「知人に相談する」が(8.4%)と意外と低かった。

6. 研修旅行について

「参加したことがある・参加したい」が55%と多く積極的参加姿勢が感じられる、男女とも年齢が高い方の参加希望率が高くなっている。

7. サークル加入に関すること

サークル加入に関することは「入っていない・入るつもりはない」が圧倒的で54%を占める結果となった。その理由の73%が「時間がない」であり「興味のあるサークルが無い」の27%を大きく上回っている。

入会している・入会したいと回答した方が22%とH20年度秋の調査と比較し6%増加しているのは興味深い。

8. フェスタ・ヨコハマについて

「参加してみたい」人の割合が約45%となっており、前回(H20年度秋)調査と比較し27%の大幅増加となっている。今年度の積極性のある学生の特徴と言えるのか。

9. 学習相談会について

学習相談会については「相談してみたい」という回答が前回の調査と同様に圧倒的で65%を占めている、5項の学習生活で迷った時の対処法における傾向とは異なり、学習内容に限ってみると相談する機会があれば利用したいという希望なのか

<相談内容・相談会に期待すること等:コメント>

◇学習上つまづいた点のアドバイス

◇現在の自分の学習進捗についてのアドバイス

◇適切なアドバイスが欲しい

◇学習の工夫や指導

◇学習方法、資格取得時の助言等

◇親切的な対応

◇キャリアガイダンス

◇専攻・コース変更に伴い複雑な学習課程に応え得る具体的な説明

◇学習の進め方の指導

◇学位授与機構を利用した学士取得のための授業の取り方の説明

◇見通しの持てる様ははっきりと教えて欲しいです。

◇案内を読んでもわからない事などについて教えて欲しいです。

10. 「センターだより」について

センターだよりの掲載内容については項目別に大差がなく、8%~18%となっている。「学習センターからの事務連絡」(18.1%)「面接授業の話題」(15.1%)「卒業研究・修士論文その他研究に関すること」(12.5%)の順となっている。

11. 「チーム制サポーターシステム」について
チーム制サポーターシステムについては新入学生へのアンケートということで認知度が低いのは仕方がないと思うが「知らなかった」が65%を占める。(前回調査時71%)

12. 「大学や先輩から支援を受けられるとしたら何を希望しますか」の問いへの回答

◇保育(面接授業や試験時)

◇資格や就業等アドバイスを受けてみたいです。

◇勉強の仕方や取って良かった科目など教えて欲しいです。

◇学習(自習)にあたってのアドバイス

◇卒業後の活動の場の情報

◇昨年度までの授業の様子、実際の授業のノートなど

◇教科のポイントとなること

◇大学院進学情報

◇講義の感想、認定試験の傾向など経験を通じた話(情報)を共有したい。

◇学習計画の立て方、モチベーション維持の方法

◇学習(科目)の理解のためのアプローチ法(多方面からのアプローチ手段)

あなたも「Kーサポート活動」に参加しませんか？ Kーサポート事務局 垣谷 江里子

6月下旬、学習センター内に、Kーサポート活動の「2009年度 サポーター募集中」のポスターを掲示しました。今年度は4つのチームが活動に取り組んでいます。より多くのサポーターの参加を歓迎しています。まずは、Q&A方式による活動紹介をいたしましょう。

Q:いつから活動をしていますか？

A:前所長の「学生による『チーム制サポーター』システム」プロジェクトへの参加呼びかけに応じた学生・卒業生が2008年の1月に初会合を持ち、同年4月から本格的に活動を開始しました。

Q:サポーターに登録する条件はありますか？

A:放送大学の学生・大学院生・卒業生であることです。

Q:4つのチームと活動内容は？

A:「学習支援」は、面接授業のある土日曜日の午後、談話室で学習相談会を実施しています。

「機関紙編集」は、「神奈川学習センターだより」の取材や寄稿依頼、編集などを行っています。

「地域連携」は昨年度に続き、ウォーキング(11月7日)を計画・準備しています。

「バス研修・行事サポート」は、三浦半島方面への研修旅行(10月23日)を計画しています。

Q:どの位の頻度で活動をしていますか？

A:学習支援チームは、学習相談会実施期間中は交代で毎週、活動しています。それ以外のチームの会議などは月平均1~2回程度です。

Q:所属する1つのチームの活動にしか参加できないのですか？

A:2つ以上のチームの活動に参加しているサポーターもいます。またチーム全体で他のチームを応援する時もあります。

Q:会費は必要ですか？

A:会費は徴収しません。しかしボランティア活動なので報酬はありません。2008年度は、所定の手続

きによる請求があれば活動(打ち合わせ等を含む)に伴う交通費実費が大学から支給されました。

Q:もっと詳しくこれまでの活動を知りたいのですが...

A:2009年3月に、これまでの活動のまとめとして「神奈川学習センター 学生支援システム報告書」を発行しました。閲覧用は、談話室内の新聞が置いてあるテーブルに備えつけられています。カラー表紙の全140ページに上る冊子で、参画した教職員による総括やサポーターの手記、写真やレジメなどの資料を見ることができます。またウェブページ <http://www.u-air.net/kc/> もご覧ください。



Q:サポーター登録に応募したい時はどうしたらいいですか。

A:E-mailの場合、ksupport@u-air.ac.jpにご連絡ください。他に事務室窓口でも受け付けています。

さて自己紹介が遅れましたが、筆者は2007年のプロジェクト立ち上げ以来、本活動の事務局を務めて参りました。サポーターの方々が、社会や地域・家庭での経験、また放送大学での学びを生かして活動に取り組まれている姿は頼もしい限りです。また、活動(学習相談会・ウォーキング・バス研修旅行)に参加したり、(学習センターだよりを)見たりした一般の学生さんから、ご意見や新しいアイデアをいただいで、Kーサポート活動がよりよいものになることを期待しております。質問や要望など事務局へもお気軽にご連絡ください。

(Kーサポート事務局 垣谷江里子)

Kーサポート 各チームからのお知らせ

○学習支援チーム

21年度第1学期の学習相談会は6月28日で終わりました。第2学期も、10月17日から12月20日まで、午後1時から4時まで行いますので、ご利用ください。

後輩の学生たちをいろいろな面でサポートしてあげたいとお考えの方はぜひ学習支援チームに参加して下さいませんか。安田武夫(電話:045-775-0879)までご連絡ください。

○地域連携チーム

秋の一日コースウォーキング

☆「港都の発展を支えた水路に行く」

☆11月7日(土曜日)

☆水路を辿り、神奈川学習センターから横浜港まで約8km 大岡川～新吉田川～吉田川～派大岡川～堀川 参加費 100円

事前申し込みしていただきますがポスターはこれからです。放送大学ウォーキングの会代表 藤田 緑 045-743-5922

○バス研修チーム

10月の学生研修旅行の企画進行中バス研修・行事サポートチームは、コースづくりを進めています。見学先は「海洋研究開発機構」「横須賀美術館」「くりはま花の国」を予定しています。有人潜水調査船「しんかい6500」の船内は？どうやって潜るの？どんな絵画に出会えるでしょう？谷内六郎の表紙絵？一面のコスモスの花があなたを出迎えてくれま～す！ご期待ください！！(大木記)

○機関紙編集チーム

機関紙編集チームは神奈川学習センターと協同で「センターだより」を年4回のペースで発行しております。試行錯誤の繰り返しですが、今回が再刊5号目(通巻39号)となります。より良いものにするため、皆様からの読後感想、企画案更には投稿などを下記のメールアドレスにお寄せ下さい。期待しております。ご意見ならびに原稿などの投稿アドレス:

Kーサポート ksupport@u-air.ac.jp 佐々木

神奈川サークル協議会の誕生

放送大学神奈川サークル協議会代表 木村勝紀

連携！ 協力！ 共存共栄！

神奈川サークル協議会とは、旧「フェスタ・ヨコハマ実行委員会」を発展的に解消し、装いを新たに構成された協議会です。学生団体間および同窓会相互の連携と協力により共存共栄を図る、という新しいコンセプトのもとに平成21年4月1日に発足しました。構成は、神奈川学習センターが認可する10の学生団体(サークル)と1つの同窓会からなっています。

何故「フェスタ・ヨコハマ実行委員会」ではないのか？

旧来の「フェスタ・ヨコハマ実行委員会」は、毎年8月の「学園祭」および2月の「講演会」を開

催実行することのみを目的としていました。せっかく各学生団体(サークル)および同窓会の代表が集いながら、そこには学生団体(サークル)間および同窓会との相互の共存共栄を図るという行動理念が盛り込まれていませんでした。

神奈川サークル協議会は何をするのか？

勿論、8月のフェスタ・ヨコハマ(学園祭)および2月の講演会は、主要行事として継続します。整理すると次の3点になります。

- 1 各学生団体(サークル)間および同窓会との相互共存共栄を図る活動
- 2 神奈川学習センターの発展に寄与するため

の建設的な対話折衝活動

3 フェスタ・ヨコハマ(学園祭)および講演会を含む各種行事の開催

神奈川サークル協議会の運営はどうするのか？

10の各学生団体(サークル)および同窓会から各2名ずつの代表を選出。互選により代表1名、事務局若干名を選出します。協議会は原則として毎月第2日曜日に行います。フェスタ・ヨコハマ(学園祭)を含む各行事ごとにチームを編成し、協議会メンバーの枠を越えて、それぞれ実行に当たります。

神奈川サークル協議会の活動は、協議会のメンバーだけに委ねるのではなく、各学生団体

(サークル)および同窓会の所属会員全員が関わるというのが本意です。皆様のご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

以上



学生サークルからのお知らせ

○神奈川放友会

8月23日(日)8月月例会(茶話会等)
 8月29～30日「フェスタ・ヨコハマ」放友会担当
 「焼きそば・カキ氷」出店「俳句・川柳」
 9月25～26日秋の一泊研修〔吉田名誉会長〕
 の講演
 10月25日(日)10月月例会(茶話会等)
 11月パソコン勉強会(各木曜日)
 11月15日(日)「旅に行こう会」
 12月13日(日)12月月例会(講演会)
 第2部「忘年会」

○人間学研究会

・例会
 (申込先 安田武夫 TEL045-775-0879)
 9月12日(土)「メタボ・あなたは大丈夫ですか」
 10月11日(日)「能・・・その幽玄なる魅力を探る」
 11月14日(土)「浅草弾左門衛や非人」(仮題)
 ・「歩きましょう」
 (大出鍋蔵 TEL046-841-7937)

- ①「小網代湾の赤カニの産卵観察会」:8月19日
- ②「ナマクワランドの花めぐりハイキングとケーブタウン」:8月29～9月7日(10日間)
- ③第3回「旧山陽道を歩く」:9月22～27日(6日間)
- ④「中央アルプス最南端の秀麗・恵那山登山」:10月16～17日

○ダンスサークル

レッスン日 毎月第2火曜日と第4火曜日
 時間 午後2時～4時まで 終了後、談話室にて雑談、参加は自由です
 費用 年会費 入会時に1000円
 レッスン料 月1500円 2ヶ月毎に徴収
 場所 第1講義室 毎回正面入り口に掲示します
 その他 7月は単位認定試験がありますのでレッスンは第1火曜日14日のみです
 お問い合わせ TEL045-933-9753 宮川

○放大かながわレク・サークル

通常活動

★ダンス部:レクリエーションダンス・フォークダンス・

ラウンドダンスの練習 練習日時:第1、第3水曜日
13時～15時 練習場所:神奈川学習センター
★パソコン部:個人教授をしていますので上達します。学習日時:第1、第3水曜日 15時～17時 場所:神奈川学習センター

★ウォーキング部:現在「東海道五十三次」に挑戦中です(月1回)9月は「興津宿」から歩きます。

★近代文学研究会:宮澤賢治の作品を研究しています。日 時:第4水曜日 13:30～16:00 場所:神奈川学習センター

★その他:ウォークラリー 横浜市中区主催に参加
問い合わせ先:中嶋 博子TEL/FAX0467-83-8203

○うえるかむ Kanagawa

英語を楽しく学んでいるサークルです。

*例会は毎月第2、第4水曜日(例外あり)

*午前中はカリフォルニア大学出身のRichardとの英会話(初級、中級、上級)

*午後はEnglish songsの練習とGroup study

*名画上映、ゲスト講演会も随時開催

午前、午後どちらの参加でも可、是非一度教室を覗いてみませんか。英語を勉強すると世界が近づいてきます。

*各学習センター合同で、海外の放送大学等との交流も行っています。

問い合わせ先 星 reikosunflower@yahoo.co.jp
045-844-9647

○韓国語同好会

※基礎学習;毎月第一、第三土曜日(原則)

10:00～12:00

※ステップアップ学習;上記の午後、随時開催
予定

※最近の活動

2月20日～23日 釜山・慶州研修旅行 韓国放送通信大学校釜山地域大学訪問など5月4日 東大・皇居周辺など釜山地域大学日本学科と散策、交流

7月11日 映画『シュリ』鑑賞会(一般参加自由・無料)神奈川学習センター

※問い合わせ 村田 090-5797-9418

○放送大学神奈川合唱団

私たちの合唱団と一緒に歌いましょう

歌うことの好きな方大歓迎

練習日 月2回 第1、第3水曜日

第1水曜日 学習センター 午後3時～午後6時

第3水曜日 大岡地区センター 午後6時～午後8時30分

指導者:新井ゆう子先生 会費:一ヶ月2000円

最近歌っている曲:放送大学学歌、一本の鉛筆、赤いくつ、と・も・た・ち、人間の贅沢ひとつ(作詞作曲:小椋佳)等

発表の場:放送大学卒業式(毎年3月NHKホール)神奈川学習センターの入学式、その他拡大の行事等、この場を利用し情報交換の場として交流を深めています。いつでも見学できます。直接会場にお越しください。(練習日)注:フェスタ・ヨコハマ(学園祭)8月30日学歌を歌います。

○中国語学習会

★学習センターの講義室で中国人の講師に中国語(普通話)の日常会話を学びます。

★毎月2回(原則 第1、第3日曜日)

10:00～12:00中級クラス;会話教本での練習、講師との実践会話により実践力養成

13:00～15:00初級クラス;発音・四声の練習、会話の基礎学習により基礎力養成

会費;毎月2,000円、どちらのクラスにも参加できます。随時見学可、初心者歓迎

★申込、問合せ:藤田(Tel.045-842-6102)

または直接学習会場まで

○資格取得研究会

看護、福祉のキャリアアップや就職を目指す集まりです。例会は、毎月1回神奈川学習センターで他に、講演会の聴講など。

8月例会:8月30日フェスタ・ヨコハマに参加

9月例会:9月13日(日)10:00～

10月例会:10月11日(日)13:00～

会費:¥500(1年間)

ホームページ:http://shikaku.yumesora.net

お問い合わせ:080-5546-7913(はこざき)

学習センターからのお知らせ

◆ 学生募集について ◆

学ぶ喜びをより多くの方々に知っていただきたいと思い皆様のご家族・ご友人・知人に放送大学の魅力や利用方法をご紹介下さるようお願いいたします。

【平成21年度第2学期入学(10月入学)の教養学部生、大学院修士選科・科目生】

募集要項配布期間:6月15日(月)～8月31日(月)

出願受付期間 :6月15日(月)～8月31日(月)

【平成22年度第1学期入学(4月入学)の大学院修士全科生】

募集要項配布期間:6月中旬 ～ 9月上旬

出願受付期間 :8月21日(金)～9月11日(金)

※大学説明会『講師:井口 篤先生…8月9日(日)13時30分～15時30分』

ご家族・ご友人・知人の方を「神奈川学習センター」にご紹介下さい!

◆ 科目登録申請について ◆

平成21年度第2学期の科目登録申請は下記のとおりです。登録を忘れないようご注意ください!!

申請期間:平成21年7月28日(火)～平成21年8月11日(火)

対象学生:平成21年度第2学期に引続き学籍がある方

注意事項:◎在学生の次学期の科目登録(放送授業及び面接授業)申請です。

入学(出願)手続きとは申請期間が異なります。

◎インターネットでの科目登録も可能です。詳細は、「科目登録申請要項」をご確認ください。

◆ 特別聴講学生募集について ◆

放送大学(神奈川学習センター)では、横浜国立大学と神奈川県立外語短期大学が放送大学と相互に単位を互換する協定を結び、双方向による単位互換を実施します。

これにより、放送大学の学生(全科履修生)は、単位互換協定を締結している横浜国立大学と神奈川県立外語短期大学の授業科目を履修することができ、修得した単位は、放送大学の単位として認定されます。

平成21年度第2学期(後期)の募集については7月以降に神奈川学習センター掲示板・ホームページで周知いたします。

1. 出願資格 ①全科履修生
②本学の在学年度が1年以上の者
③放送授業科目において30単位以上を修得した者
(出願先「横浜国立大学または神奈川県立外語短期大学」へ通学が可能である者。)
2. 出願のための履修相談先
神奈川学習センター事務室窓口